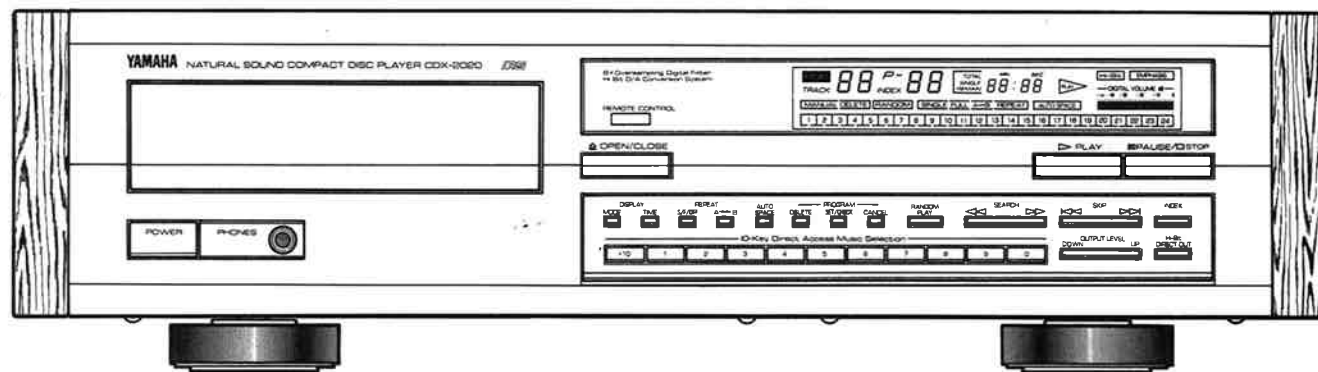


CDX-2020

NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

取扱説明書

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



YAMAHA

ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハコンパクトディスクプレーヤーCDX-2020をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

CDX-2020の優れた性能を充分に発揮させるとともに、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますよう、お願いいたします。

お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

特長

本機は、CD(コンパクトディスク)の持つ優れた音質を充分にお楽しみ頂けるよう、ヤマハ最新のデジタルオーディオ技術を結集して開発されたCDプレーヤーです。周波数特性 2 Hz~20,000Hz±0.3dB、ダイナミックレンジ100dB以上、高調波歪率0.0025%以下(1kHz)、SN比120dB以上というオーディオ特性と、ワウフラッター等は測定限界値以下という機械特性に裏付けされた、クリアなサウンドを得ています。

●Hi-Bitデジタル技術による高音質

CDプレーヤーの音質を大きく左右するD/A変換システムには、8 fs×22bit, 4 DACシステムを搭載。高忠実度なD/A変換を行い、音の分解能とSN比を大幅に改善し、音色の微妙な違いまでを鮮明に再現しています。さらにHi-Bitスイッチを設け、L.P.F(ローパスフィルター)を通さないピュアDACダイレクト再生を実現しています。

●デジタルとアナログ信号を完全分離

オーディオ信号を電流伝送するカレントアイソレーション回路と、低インピーダンスAクラス動作オーディオアンプ部のシャントレギュレーター電源回路は、オーディオ信号へのデジタルノイズの混入を完全に排除。さらにデジタル、アナログ独立、2基のアルミダイキャストケース入り大型電源トランスを搭載。デジタルとアナログ回路の完全分離を計っています。

●デジタルインターフェース対応の出力端子

ダイレクト、フィルタード切り替えのアナログ出力端子に加え、コアキシャル、オプティカル2系統のデジタル出力端子を装備。本格的なデジタルインターフェースの時代に対応しています。

●マイコン搭載による多彩な演奏機能とLCDディスプレイ

8桁のLCDディスプレイは、曲番やプログラム曲番、演奏経過時間や演奏残り時間などをデジタル表示。また、プログラム演奏、リピート演奏、インデックス演奏などの各演奏モードも表示され、演奏状態を常に確認できます。さらに、ミュージックカレンダーやデジタルボリュームインジケーターを装備。多彩な演奏機能のシンプル操作を実現しています。

●高剛性2BOXシャーシーと新開発レグ

ディスクトレイ部に採用したアンチバイブレーション・フローティングサスペンションシステムや、高剛性2BOXシャーシー、重量級ボトムカバー、さらに新開発のピンポイントGPレグ等。外部や内部振動を徹底的に押さえ、クリアな再生音を得ています。

●高信頼性ローノイズ設計のメカユニット

リニアモーターによる高速アクセスに加え、コンピューターコントロール2WAYサーボにより、高信頼性とローノイズプレイを実現。さらにスピーディな選曲再生が可能となりました。

●リモコンユニットを標準装備

付属のリモコンユニットにより、ダイレクト選曲を始め、基本操作のほとんどが、リスニングポジションで行えます。

目次

特長	1
豊かなオーディオライフのために	2
ご使用の前に	3
コンパクトディスクの取り扱い	4
接続のしかた	5
各部の名称とはたらき	7
リモコンユニットをご使用になる前に	11
リモコンユニットについてのご注意	12
基本的な演奏	13
選曲再生のしかた	16
プログラム演奏	18
ランダム演奏	22
インデックス演奏	23
リピート演奏	24
オートスペースについて	25
タイマー演奏	25
故障かなと思ったら	26
参考仕様	27
ヤマハホットラインサービスネットワーク	28

豊かなオーディオライフのために

高温・低温はさけて！

窓際や直射日光の当たる場所、暖房器具のそばなど、極端に暑い場所（周囲温度30℃以上）や温度の特に低い場所（周囲温度5℃以下）に設置することは、さけてください。



結露現象について

本機を、冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと動作部に露が生じ、本機の性能を十分に発揮できなくなる場合があります。このような場合には電源を入れる前に1～2時間程度放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください

ほこり・水気をさけて！

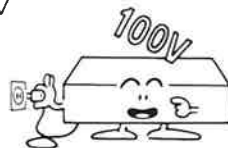


不安定な場所をさけて！

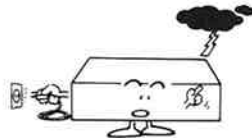


国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V

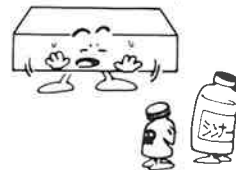


雷が近づいたら

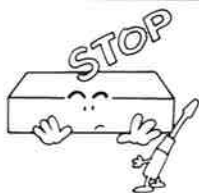


早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。

薬物厳禁



開けないで！



引っぱらないで！



保証書の手続きを！

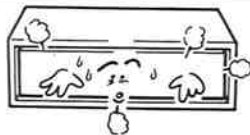
お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

こわれた？



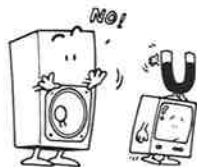
26ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

セットの放熱を妨げない



放熱を妨げないため、通気性の悪い場所には設置しないでください。

磁気・テレビはさけて！



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

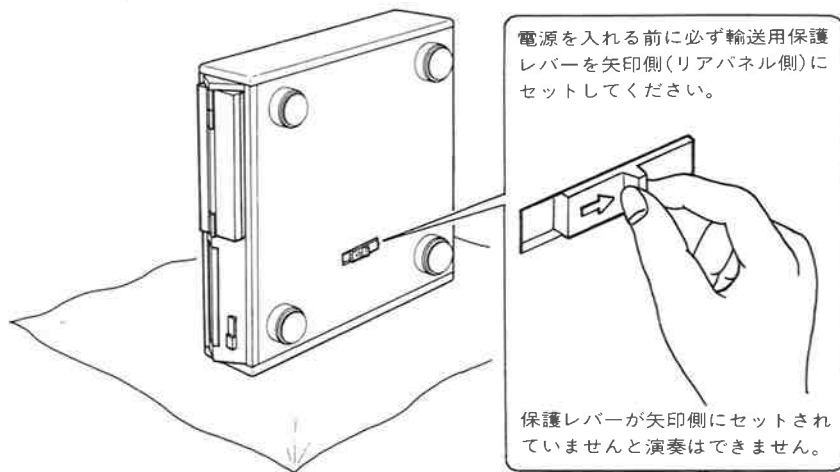
ご使用前に

■輸送用保護レバーについて

精密なレーザーピックアップ部を輸送時の振動から守るため、輸送用保護レバーを本底面に装備しています。

本機を設置する前には必ず、下図に従ってレバーを矢印(演奏用)方向にセットしてください。

- ①パネルに傷などをつけないよう、柔らかい布などを敷きます。
 - ②左側面を下にして本体を立てます。このときフロントパネルやリアパネル面で立てないでください。
 - ③レバーを矢印方向にセットします。
 - ④静かに本体を元に戻します。
- レバーをセットする際は、本体に衝撃を与えないように注意してください
 - 本機を移動する際は、ディスクを取り出し、必ずレバーを矢印と反対方向に動かし、ピックアップ部を固定してください。



■本機の設置場所について

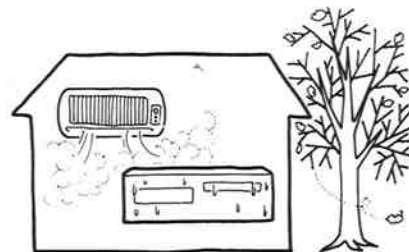
本機を設置する際は、振動のない水平な場所をお選びください。

また、本機を発熱をともなうアンプなどの上に設置したり、通気性の悪いラックなどに入れて使用されますと、ディスクや本機に悪い影響を与えますので、必ず通気性の良い場所に設置してください。

■結露現象について

冬期などに、本機を他所から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと、動作部やピックアップレンズに露がつきます。露がついたままでは、信号の読みとり再生ができませんので、そのような場合は、電源を入れて1~2時間そのままに放置し本機を室温に保ち、露が消えてから操作してください。

結露と同じ症状は、夏期のクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起きることがあります。その場合には本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてご使用ください。

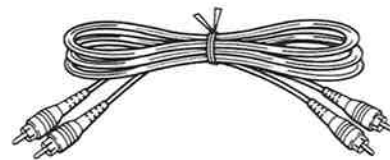


■付属品を確認してください。

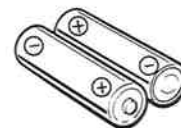
付属品は3点あります。



リモコンユニット




出力ピンプラグコード



乾電池 単3 (SUM-3) 2本

コンパクトディスクの取り扱い

本機は、コンパクトディスク(CD方式)専用のプレーヤーです。  マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

●規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。規格外のディスクはご使用にならないでください。

ケースからの取り出し方

1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。



2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でコンパクトディスクを持ち上げます。



3. できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。



ディスクのセット

コンパクトディスクは、必ず文字の書かれているレーベル面を上にしてディスクトレイの中央に正しくセットしてください。(8cmディスクは8cmディスク用ガイドの中にセットします)

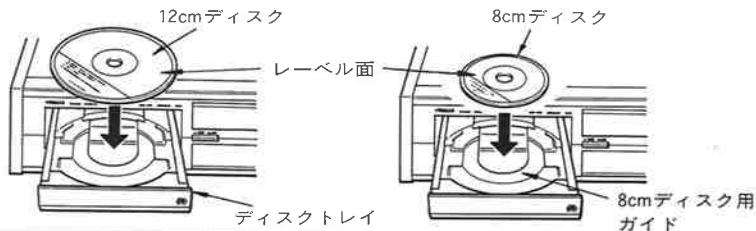
*コンパクトディスクの演奏は片面のみです。

*ディスクトレイにセットできるディスクは1枚だけです。複数のディスクをセットしますと、ディスクに傷

がついたり、ディスクトレイが開いてしまう場合があります。

●市販のディスクスタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

●ディスクシート等を使用したディスクの場合は、正常に演奏できないことがあります。



取り扱いの注意

●信号記録面に指紋やほこりがつきましたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれは柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほこりやよごれは、音にはまったく影響ありません。



●レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。



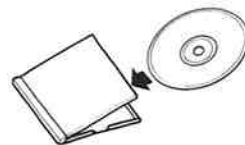
●曲げたりしないでください。



●表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



●演奏を終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。



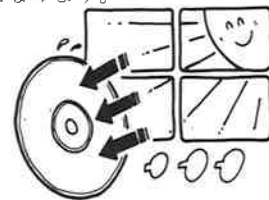
●レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。

コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

また、水に濡れた布で拭くことも避けてください。



●直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所へ長時間置かないでください。コンパクトディスクを温度の高い場所に長時間放置すると変形などの原因となります。

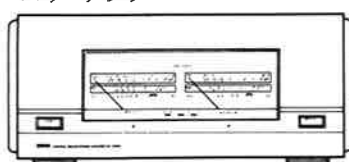


接続のしかた

- 接続の際は各機器の電源を切り、右チャンネル(R)、左チャンネル(L)、を確認して正しく接続してください。

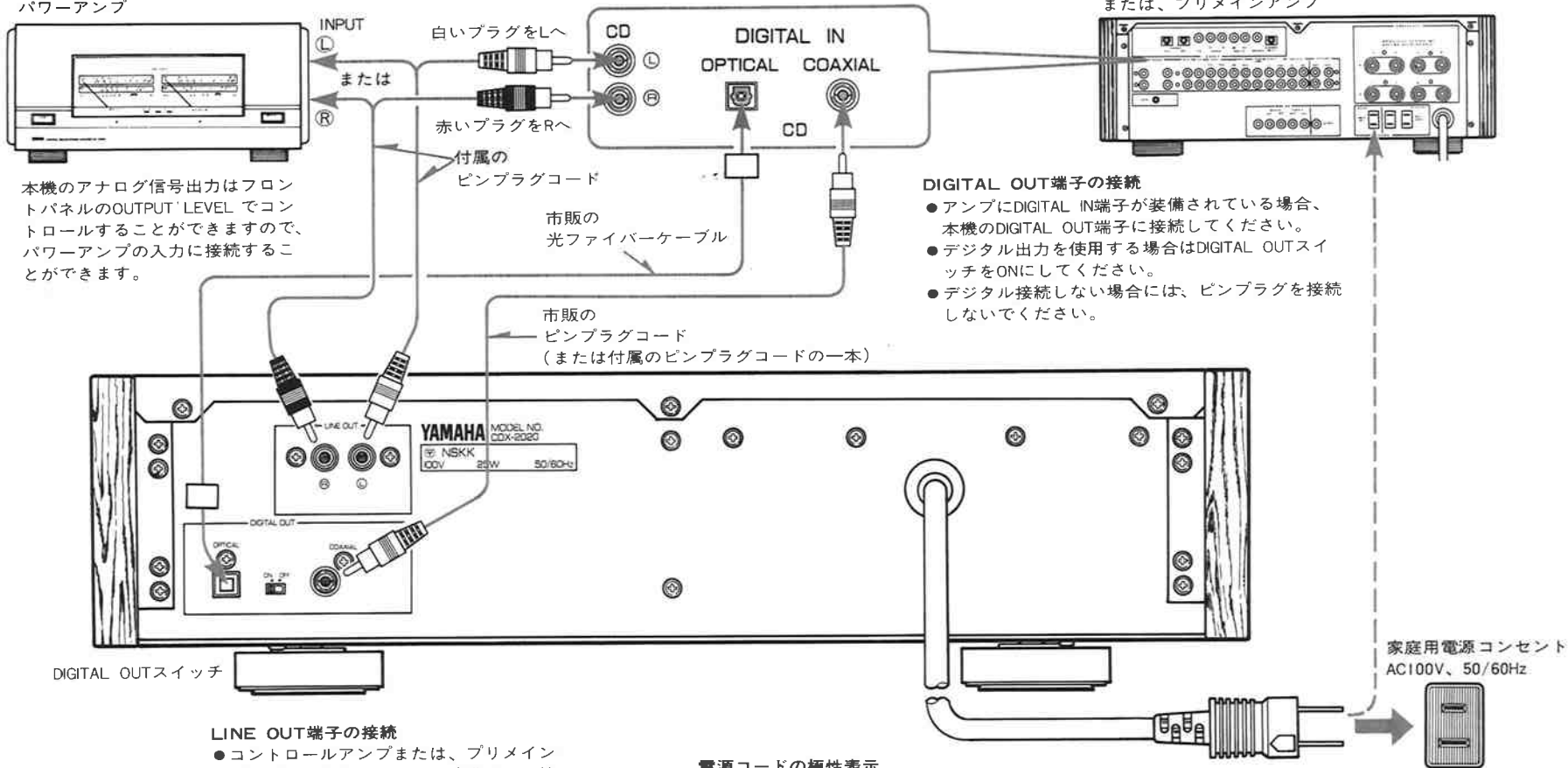
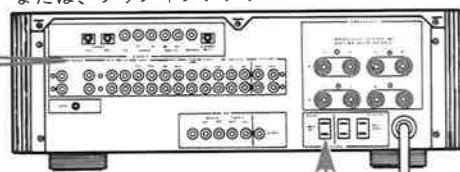
- 接続する機器によっては、端子名などが異なることがあります。接続する機器の取扱説明書もご参照ください。

パワーアンプ



本機のアナログ信号出力はフロントパネルのOUTPUT LEVELでコントロールすることができますので、パワーアンプの入口に接続することができます。

DIGITAL IN端子装備のコントロールアンプ
または、プリメインアンプ



DIGITAL OUT端子の接続

- アンプにDIGITAL IN端子が装備されている場合、本機のDIGITAL OUT端子に接続してください。
- デジタル出力を使用する場合はDIGITAL OUTスイッチをONにしてください。
- デジタル接続しない場合には、ピンプラグを接続しないでください。

LINE OUT端子の接続

- コントロールアンプまたは、プリメインアンプのCD(またはDAD、AUX)端子に、接続してください。いずれの端子も無い場合はTAPE PB端子に接続してください。詳細はご使用のアンプの取扱説明書を参照してください。

電源コードの極性表示

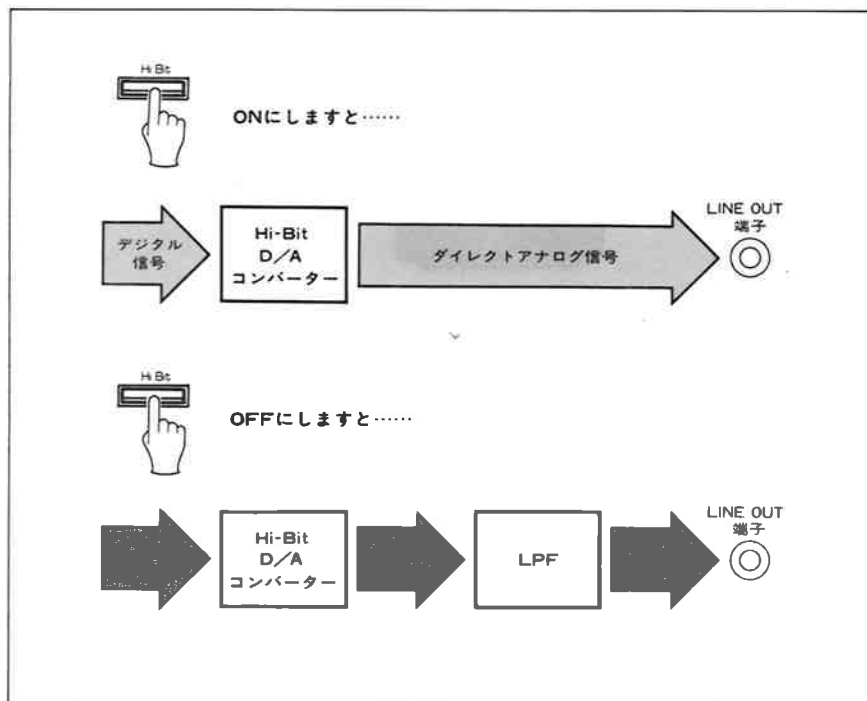
- 本機の電源コードには、極性表示(電源トランスの巻き始め側を、プラグに「」マークで表示)されています。これは、各機器の電源の極性を合わせるためです。アンプ等のAC OUTLETに極性表示があれば電源コードの極性の向きを合わせて接続してください。

- 電源コードはAC100Vの家庭用コンセントかアンプの電源コンセントに接続してください。本機の消費電力は25Wです。アンプの電源コンセントの供給電力を確認の上、ご使用ください。

■LINE OUT端子について

本端子に出力されるアナログ信号は、フロントパネルにあるHi-Bitスイッチにより、ダイレクト信号とフィルタード信号のどちらかを選択することができます。

Hi-BitスイッチをONにしますと、8倍オーバーサンプリングデジタルフィルター、Hi-Bit D/Aコンバーターを経由したアナログ信号がダイレクトに出力されます。またスイッチをOFFにしますと、LPF(ローパスフィルター)を経由したアナログ信号が出力されます。



■DIGITAL OUT端子について

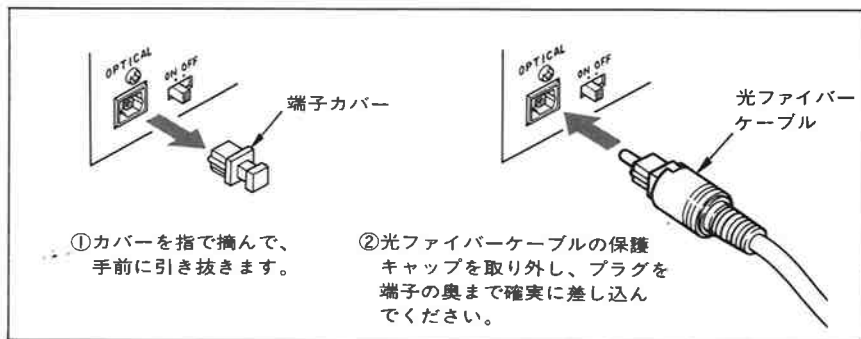
本端子はDIGITAL OUTスイッチをONにしますと、デジタル信号が出力されますのでCOAXIAL端子またはOPTICAL端子のどちらか一方を接続することにより、デジタル入力端子を装備したアンプや、D/Aコンバーターとデジタル信号をダイレクトに接続することができます。

COAXIAL端子に接続する際は、市販のピンプラグコードまたは、付属のピンプラグコードの片方を、OPTICAL端子を接続する際は、市販の光ファイバーケーブルをご使用ください。

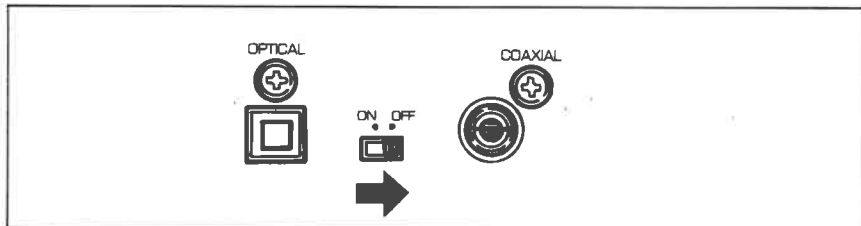
●OPTICAL端子の接続

アンプにOPTICAL入力端子が装備されている場合、接続します。

※OPTICAL信号の規格が合わないアンプに接続した場合、音が出ないことがあります。
※本端子をご使用にならない場合は、ゴミやホコリの侵入を防ぐため必ず端子カバーをしてください。



●DIGITAL OUT端子をご使用にならない場合は、必ずDIGITAL OUTスイッチをOFFの位置にしておいてください。



⑦ REMOTE CONTROL 受光部

リモコンユニットからの信号(赤外線)を受光する窓です。

⑧ REPEAT キー

リピート演奏をするときに押します。(「リピート演奏」→ページ24)

シングル / フル オフ S / F / OFF: 一曲リピート、全曲リピート、プログラムリピートの指定および解除をするときに使います。

A ↔ B : A ↔ B リピート(任意の2点間のリピート)の指定をするときに使います。(A ↔ B リピートの解除は、REPEAT OFF キーで行います。

* 一曲リピートまたは全曲リピートを指定しますと A ↔ B リピートが、A ↔ B リピートを指定しますと一曲リピートまたは全曲リピートが解除されます。

* A ↔ B リピートは演奏中あるいはポーズ中のみ指定することができます。

⑨ AUTO SPACE キー

このキーを押しますと、演奏される曲と曲との間に約3秒間に自動的に設定されます。(「オートスペースについて」→ページ25)

⑩ PROGRAM キー

聴きたい曲を任意の順番で演奏する(「マニュアルプログラム」→ページ18)ときや、聴きたくない曲を飛ばして演奏する(「デリートプログラム」→ページ20)場合に使います。

DELETE : デリートプログラムをセットするキーです。

SET / CHECK : プログラム演奏をするとき、そのセッティングやチェックをするキーです。

CANCEL : プログラムを一曲ずつ、あるいはそのすべてを削除するキーです。

⑪ RANDOM PLAY キー

ディスクに収録されている曲を、本機にまかせてランダム(順不同)に演奏させるキーです。(「ランダム演奏について」→ページ22)

⑫ SEARCH キー

演奏中またはポーズ中に、早送りまたは早戻しをするキーです。4秒以上押し続けると高速で早送りまたは早戻しされます。

▶▶……………早送りされます。

演奏時 : 音出し早送り

ポーズ時 : 音無し早送り

ストップ時 : 変化しません。

◀◀……………早戻しされます。

演奏時 : 音出し早戻し

ポーズ時 : 音無し早戻し

ストップ時 : 変化しません。

⑬ ディスプレイ

10ページ参照。

⑭ SKIP キー

演奏中またはポーズ中に、前後の曲の頭出しをするキーです。

* 押し続けると連続的に変化します。

* 曲番が表示されていないときは、このキーは動きません。

▶▶……………押すごとに次の曲の頭に移ります。

演奏時 : 次の曲の頭から演奏

ポーズ時 : 次の曲の頭でポーズ

◀◀……………ストップ時: 押すごとに曲番が上がります。

1回押しますと、その曲の頭に戻ります。(曲の頭から1秒以内で押しますと、前の曲の頭に戻ります。)

その後は押すごとに、前の曲の頭に戻ります。

演奏時 : その曲の頭から演奏

ポーズ時 : その曲の頭でポーズ

ストップ時 : 押すごとに曲番が下がります。

^{プレイ}
⑬ **PLAY**キー

演奏をスタートさせるキーです。

^{ポーズ} / ^{ストップ}
⑭ **PAUSE/STOP**キー

演奏中にこのキーを押しますと、その箇所でも一時停止(PAUSE)します。ポーズ中はPLAYインジケータが点滅します。

ポーズ中にもう一度このキーを押すと演奏は停止し、PLAYキーを押すと、演奏が再開されます。

^{インデックス}
⑮ **INDEX**キー

インデックス演奏をするときに使うキーです。(「インデックス演奏」→ページ23)

^{アウトプット} ^{レベル}
⑯ **OUTPUT LEVEL**コントロールキー

リアパネルのアナログ出力端子の出力レベル、およびPHONESジャックに接続したヘッドホンの音量を調整します。

出力を上げる場合は、このキーのUP側を、下げる場合はDOWN側を押します。

* デジタル出力端子の出力レベルは調整できません。

* 一度設定されたレベルは電源がOFFになってもメモリーされています。

^{ハイビット} ^{ダイレクト} ^{アウト}
⑰ **Hi-Bit DIRECT OUT**スイッチ

このスイッチをONにしますと、インジケータが点灯し、リアパネルのLINE OUT端子にはHi-Bit D/AコンバーターでD/A変換されたアナログ信号が、LPF(ローパスフィルター)を経由せずにダイレクトに出力されます。

OFFにしますとLPFを経由した信号が出力されます。

試聴を繰り返し、お好みの方にスイッチを設定してください。

● 一度設定されたスイッチの状態(ONまたはOFF)は電源がOFFになってもメモリーされています。

⑱ **シーリングパネル**

比較的使用頻度の少ないキーをパネル内に収容しています。

パネルの下部を押して、開けてください。



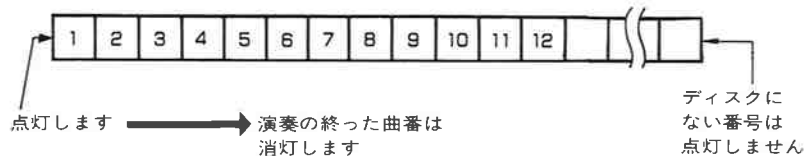
■ **ミュージックカレンダー**について

本機は演奏状況やプログラムの状況を一目で把握することのできる、便利なミュージックカレンダーを装備しています。

ディスクをセットしますと、ディスクに収録されている曲数に対応した番号が点灯します。演奏を終えた曲番は順次消灯します。

またプログラムの選曲時は、プログラムされた曲の曲番が点灯(デリートプログラム時は消灯)しますので、セットミスを事前に防ぐことができます。

■ **例 12曲収録のディスクをセットした場合**



⑩ ディスプレイ

演奏時間や演奏モードを表示します。

ディスク DISCインジケータ

ディスクトレイ内のディスクの有無を表示します。ディスクトレイにディスクが正しくセットされているときは、このインジケータが点灯します。
※ディスクをセットしてもこのインジケータが点滅し、消灯してしまう場合は、ディスクが裏返しになっていないか、お確かめください。

トラック TRACK(曲番)インジケータ

演奏時やプログラム時に曲番を表示します。

プログラム インデックス P- / INDEXインジケータ

プログラム曲番やインデックス番号を表示します。

トータル / シングル / リメイン TOTAL / SINGLE / REMAINインジケータ

TIME DISPLAYキーを押すごとに、時間表示がSINGLE(演奏経過時間)、TOTAL REMAIN(総残り時間)、TOTAL(総演奏時間)に変わります。それぞれの時間は、分(MIN)秒(SEC)単位で表示されます。

プレイ PLAYインジケータ

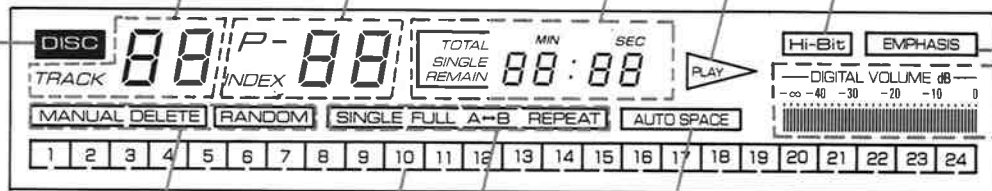
演奏中は点灯し、ポーズ中は点滅、ストップ時は消灯します。

ハイビット Hi-Bitインジケータ

Hi-Bit DIRECT OUTスイッチをONにすると点灯します。

エンファシス EMPHASISインジケータ

演奏している曲にエンファシスがかけられているとき、自動的に点灯します。



デジタル ボリューム DIGITAL VOLUMEインジケータ

OUTPUT LEVELキーで設定された出力レベルを表示します。

オート スペース A .SPACEインジケータ

スペースインサート時に点灯します。

リピート REPEATインジケータ

リピード演奏の種類がSINGLE(一曲)リピート、FULL(全曲)リピートまたはA ↔ Bリピートかを表示します。

ミュージックカレンダー

ディスクに収録されている曲数が点灯して表示されます。

プログラム MANUAL PROGインジケータ

MANUAL マニュアルプログラムがセットされているときに点灯します。

DELETE デリートプログラムがセットされているときに点灯します。

RANDOM テーブランダムプログラムがセットされているとき、またはランダム演奏中に点灯します。

リモコンユニットをご使用になる前に

付属のリモコンユニットをご使用になりますと、基本操作のほとんどが離れた場所から操作できます。

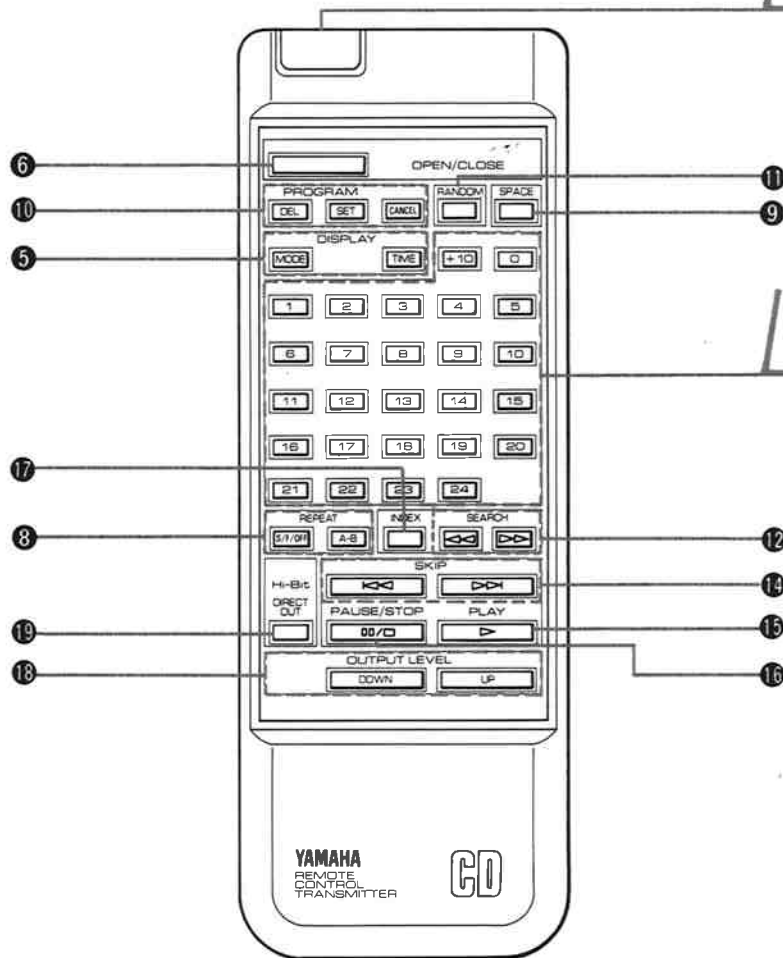
なお、信号は直進性の高い赤外線を使っていますので、受光窓との角度にご注意ください。

番号により示されているキーの機能は本体のキーと同様です。

「各部の名称とはたらき」(ページ7)をご参照ください。

送信窓

リモコン信号を送信する窓です。



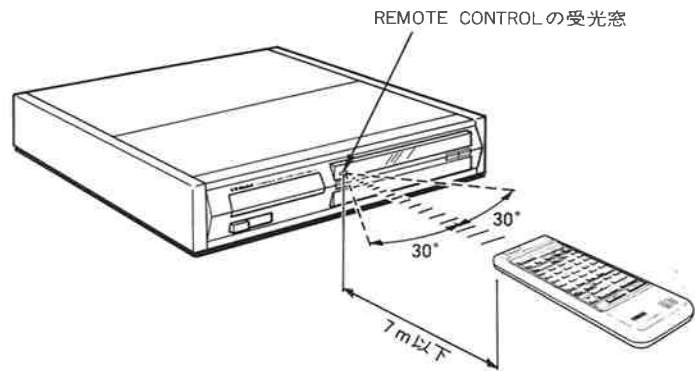
ダイレクト選曲キー(テンキー)

0から24まで、そして+10の数字キーです。演奏曲番をダイレクトに指定することができます。

リモコンユニットについてのご注意

付属のリモコンユニットをご使用になりますと、基本操作のほとんどが離れた場所から操作できます。

なお、信号は直進性の高い赤外線を使っていますので、受光窓との角度にご注意ください。



付属のリモコンは…

本機専用です。近くに他の機器が設置されていると、誤動作をおこすことがあります。リモコン操作によって誤動作する機器があるときは、その機器のリモコン受光部をふさぐか、設置場所を変えてください。

ていねいに扱ってください。

お茶や水をこぼしたり、強くたたいたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高い所にも置かないようご注意ください。

リモコン受光窓に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、働きにくくなります。

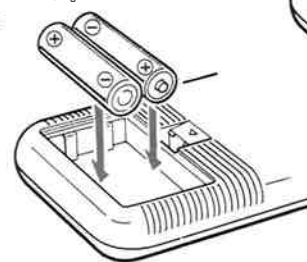
電池の交換時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。

①リモコンユニットの裏のふたをはずします。



②SUM-3(単3)型乾電池(2本)の⊕⊖を正しく合わせて入れてください。



③電池をセットしましたらカチット音がするまでしめます。

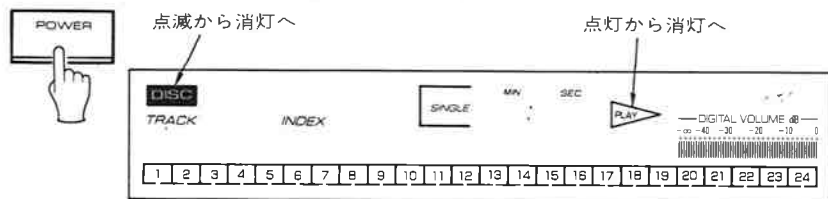


- プラス(⊕)とマイナス(⊖)の向きを、リモコンの電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 弱ってきた電池は、早めに交換してください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。
- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。
- 電池の⊕と⊖を金属片などで直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 分解や加熱をしたり、火の中に入れてたりしないでください。万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

基本的な演奏

CDは従来のアナログレコードやテープ再生時のような演奏前のノイズがほとんどありません。演奏スタートと同時に大音量となることがありますので、アンプのボリュームの位置にご注意ください。

1 POWERスイッチを押し、電源を入れます。

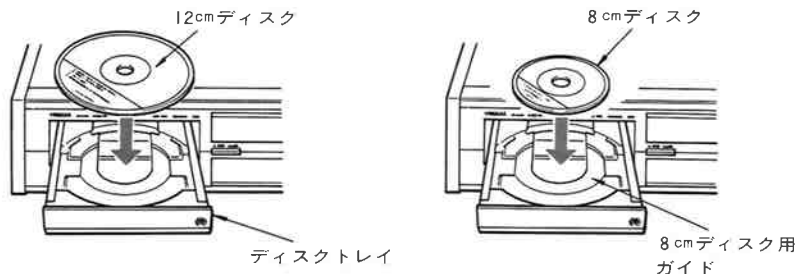


2 OPEN/CLOSEキーを押し、ディスクトレイを開けます。



3 ディスクをケースから取り出し、レーベル面を上にしてディスクトレイに入れます。(8 cmディスクは8 cmディスクガイドの中に入れます。)

- レーベル面の反対側が音の記録面です。(記録面は片面だけです。)
- ディスクトレイにセットすることのできるディスクは1枚のみです。複数のディスクをセットすると、ディスクトレイが開いてしまう場合があります。



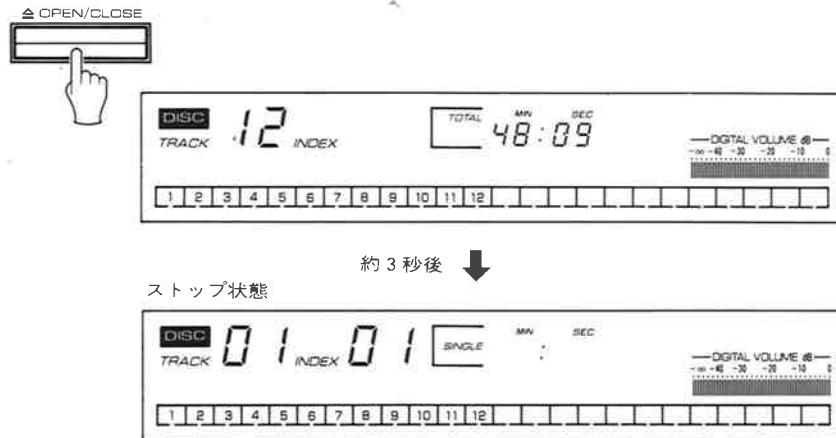
- 本取扱説明書では12曲収録のディスクを例に説明しております。
- リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

4 OPEN/CLOSEキーを押します。

ディスクトレイが閉まり、ディスクに収められている情報を読み込む数秒間、DISCインジケータが点滅、その後点灯に変わります。ディスプレイは、そのディスクに収められている総曲数と総演奏時間を約3秒間表示し、ストップ状態になります。同時にミュージックカレンダーはセットされたディスクに収録されている曲数を点灯表示します。

- ディスクをセットしてもDISCインジケータが点滅後消灯し、曲番00表示するときは、ディスクが裏返しになっていないか確認してください。

例 総曲数12曲、総演奏時間48分9秒のディスクをセットすると

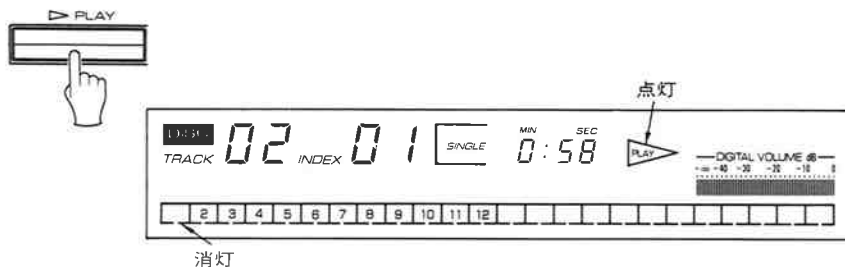


- ディスクがディスクトレイにセットされている場合には、電源を入れると総曲数、総演奏時間を表示せずにただちに演奏を開始します。
- ディスクトレイは、OPEN/CLOSEキーを押さずに、PLAYキーを押すか、ディスクトレイを軽く手で押しても閉じることができます。この場合にも総曲数、総演奏時間を表示せずに、ただちに演奏を開始します。

5 PLAYキーを押します。

PLAYインジケータが点灯し、ディスクの1曲目から最後の曲まで演奏します。ディスプレイは曲番と曲ごとの演奏経過時間を表示します。また演奏が終了したミュージックカレンダーの曲番は順次消灯し、最終曲までの演奏が終了しますと自動的にストップ状態(1曲目の頭で待機)になります。

例 2曲目の演奏開始後58秒経過



- ディスクにキズなどがありますと、演奏開始が遅れたり、曲の途中から演奏することがあります。
- 偏芯したディスクは演奏中に異音を発することがありますので、ご使用にならないでください。
- 演奏中は本機を動かさないでください。演奏中のディスクは高速で回転しています。このとき本機を持ち上げたり、動かしたり、衝撃を与えたりしますと、ディスクに傷を付ける恐れがあります。本機を移動する場合は演奏を中止し、ディスクを必ず取り出してください。

ご注意

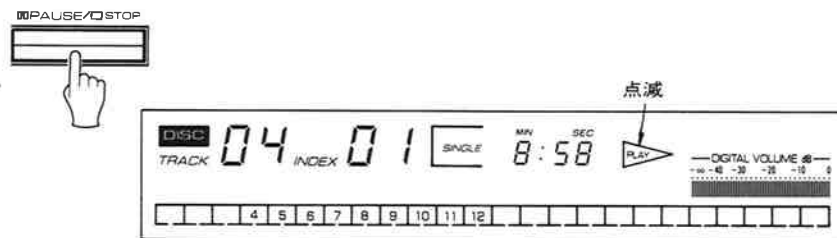
- ディスクトレイに不要物などを入れますと故障の原因となります。
- ディスクトレイが動作している間は、手で無理に開閉しないでください。

演奏を一時停止させるときは

PAUSE/STOPキーを押します。

キーを一度押すと一時停止(ポーズ)し、PLAYインジケータが点滅します。再び演奏を始めるときには、PLAYキーを押してください。

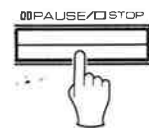
例 4曲目を演奏中、8分58秒でポーズ



演奏をストップさせるときは

PAUSE/STOPキーを2度押します。

PLAYインジケータが消灯し、演奏がストップします。ピックアップはディスクの1曲目の頭で待機します。



ディスクをとりだすには

OPEN/CLOSEキーを押します。

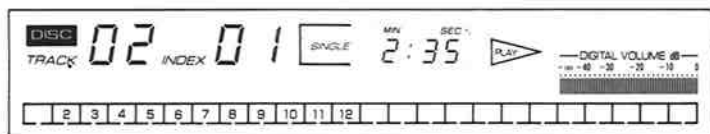
ディスクトレイが出てきます。ディスクを取り出してから、ディスクトレイを閉めてください。

- OPEN/CLOSEキーはPOWERスイッチ以外のすべてのキー機能に優先します。例えば演奏中でもこのキーを押せば、演奏はストップし、ディスクトレイが開き、ディスクを取り出すことができます。このような場合も本体、ディスクに対して何らの支障はありません。
- 本機をご使用にならないときは、ゴミやホコリを防ぐため、必ずディスクトレイは閉めておいてください。

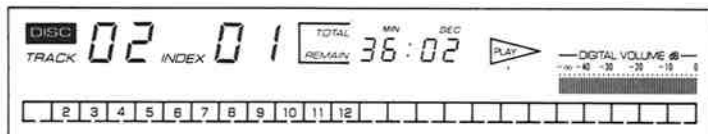
■ディスプレイについて

TIME DISPLAYキーを押すごとに、表示内容が次のように切り換わります。

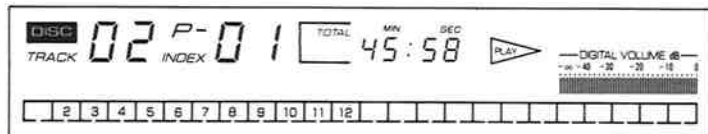
SINGLE 2曲目を演奏中、2分35秒経過



TOTAL REMAIN 2曲目を演奏中、演奏終了まで、あと36分2秒



TOTAL 2曲目を演奏中、ディスク(プログラム)の総演奏時間は48分58秒



- TOTAL REMAIN TIMEおよびTOTAL TIMEが99分59秒を超えた場合は、100分代を省いて表示されます。
- ストップ時はSINGLEおよびTOTAL REMAINは表示されません。
- ランダム演奏中のTOTAL REMAINは"—：—"となります。

■いろいろな演奏をお楽しみいただけます。下記のリストをご参照ください。

	参照ページ
ディスクの始めから終わりまで通して聴きたい	⇨ 基本的な演奏 13
ディスクの途中の曲から聴きたい	⇨ 選曲再生のしかた 16
ディスクの中の何曲かだけを聴きたい	⇨ マニュアルプログラム 18
ディスクの中のある曲を飛ばして聴きたい	⇨ デリートプログラム 20
気分を変えて、たまには演奏順を本機にまかせたい	⇨ ランダム演奏 22
曲の途中のある楽章(INDEX)から聴きたい	⇨ インデックス演奏 23
ディスクの中のある一曲を繰り返して聴きたい	⇨ 一曲リピート 24
ディスクの始めから終わりまで通して繰り返して聴きたい	⇨ 全曲リピート 24
ディスクのある部分を繰り返して聴きたい	⇨ A⇄Bリピート 25
C/D演奏を目覚ましにしたい	⇨ タイマー演奏 25

選曲再生のしかた

選曲再生にはSKIPキーを使うスキップ選曲と、テンキーを使うダイレクト選曲の2種類があります。

■演奏を開始する前や演奏中およびポーズ中の選曲

スキップ選曲…SKIPキーを使います。

▷◁ ……キーを押すごとに次の曲の頭に移ります。押し続けると連続的に、最終曲の頭までスキップします。

◁◁ ……キーを一回押しますと、その曲の頭に戻ります（曲の頭から1秒以内に押し続けますと、前の曲の頭に戻ります）。

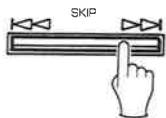
その後はキーを押すごとに前の曲の頭に戻ります。押し続けると連続的に、曲番1までスキップします。

ダイレクト選曲…テンキーを使います。

演奏したい曲番をテンキーで指定しますと、ダイレクトに選曲することができます。

- ディスクに収録されている曲数より大きな番号を指定した場合は、自動的に最終曲番が選曲されます。
- 選曲操作はディスクトレイが開いた状態でも行えます。

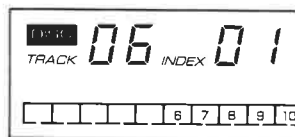
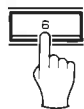
□例 曲番3を演奏中に、曲番6を演奏するとき



3回押す



または



- 演奏中に選曲した場合は、選曲後にその曲を自動的に演奏します。
- ポーズ中に選曲した場合は、選曲された曲の頭でポーズ状態になります。

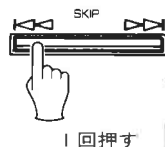
- 本取扱説明書では12曲収録のディスクを例に説明しております。
- リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

■演奏中の曲の頭に戻るとき

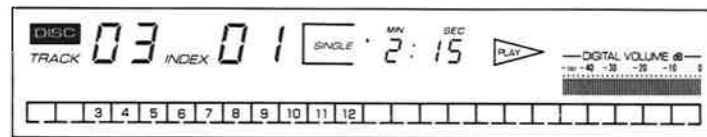
SKIPキー ◁◁…一回押します。

テンキー：演奏している曲の番号を押します。

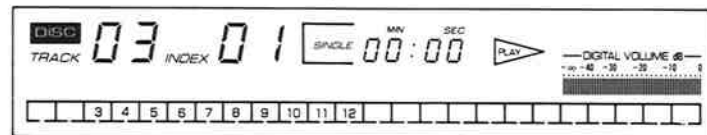
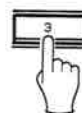
□例 曲番3を演奏中に、曲番3の頭から演奏しなおすとき



1回押す



または



■早送りと早戻し

演奏中またはポーズ中にSEARCHキー(▷▷, ◁◁)を使って、早送り・早戻しをすることができます。

■演奏中（音出しサーチ）

“▷▷”または“◁◁”キーを押し続けると、始めの約1秒間は低速で、その後は高速で早送り・早戻しすることができます。キーを押している間は、再生音を小さな音（約1/4）で聞くことができます。指を離れたところから演奏が再開されます。

- “▷▷”キーを押し続けて、最終曲の終わりまでサーチしますと、ストップ状態になります。

■ポーズ中（音無しサーチ）

“▷▷”または“◁◁”キーを押しますと早送り・早戻しができますが、ポーズ中はモニター音は出ません。

■ストップ状態

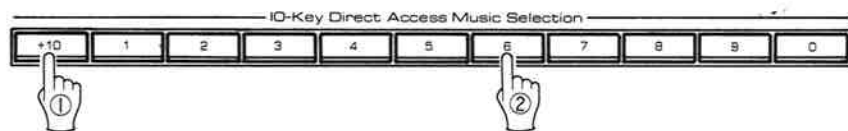
“▷▷”あるいは“◁◁”キーを押しても、変化しません。

テンキーの操作について

曲番10以上の曲を選曲する場合には、+10キーを押すと、“1_”と表示されます。その後、1の位のキーを押します。

例 本体の10キーで曲番16を選曲する場合

- ① +10キーを押します。
- ② 6キーを押します。

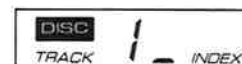
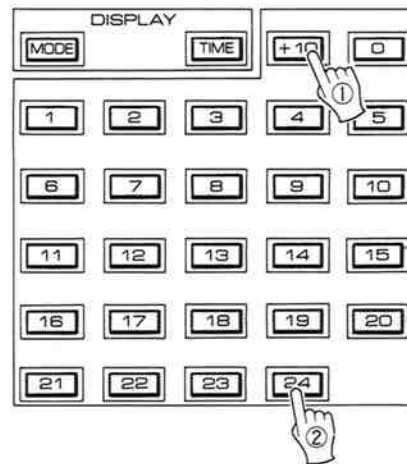


■ +10キーについて

- 曲番のセット時は“+10”キーを押すごとに“1_”“2_”と変わりますが、セットされたディスクに集録されていない2桁は表示せず、“0_”に戻ります。
- インデックスやテープサイズのセット時は、“+10”キーを押すごとに“1_”“2_”“3_”と変わり、“9_”の次に押すと“0_”となります。
- +10キーを押した場合には1の位が入力されるまで、約10秒間保持されます。10の位が入力されないまま10秒経過しますと、10の位の指定は解除されます。

例 リモコンユニットのダイレクトキーで曲番34を選曲する場合

- ① +10キーを押します。
- ② 24キーを押します。



- ストップ状態や、ディスクトレイが開いた状態で+10キーを押し、1の位を入力しないままPLAYキーを押すと一曲目から演奏します。
- 演奏中に+10キーを押し、1の位を入力しないままに“>>”“<<”キーを操作すると、+10キーを押す前の曲番を+または、-した曲番が演奏されます。

プログラム演奏

- プログラム演奏には次の方法があります。

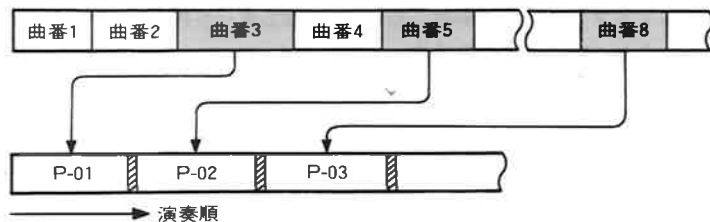
マニュアルプログラム……………ディスクに収録されている曲の中から、任意の曲を任意の順番で演奏します。

デリートプログラム……………ディスクに収録されている曲の中から、聴かない曲を飛び越して演奏します。

マニュアルプログラム

ディスクに収録されている曲の中から最大24曲まで、任意の曲を任意の順番で演奏することができます。

- 例 次のようなプログラムは

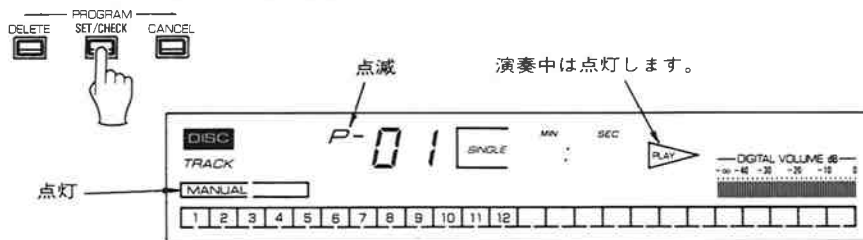


- 本取扱説明書では12曲収録のディスクを例に説明しております。
- リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

1 PROGRAMのSET/CHECKキーを押します。

ディスプレイに“P-”の表示が点滅し、P-01にプログラムセットができることを示します。“P-”インジケータはプログラムセット中、点滅します。

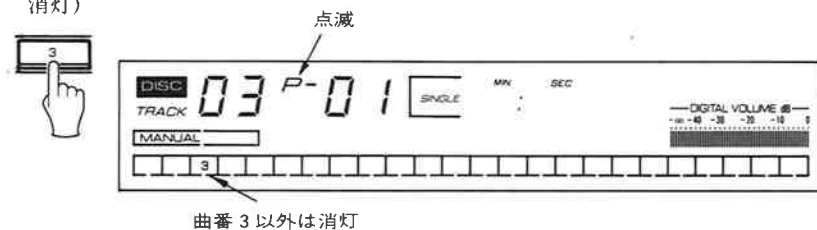
- このときミュージックカレンダーはディスクの収録曲番が点灯し、収録されていない曲番は消灯します。消灯している曲番はプログラムセットできません。
- “P-”の点滅を約10秒間放置すると、プログラムセットが解除されます。



2 プログラムする曲をテンキーで選曲します。

この場合は3です。

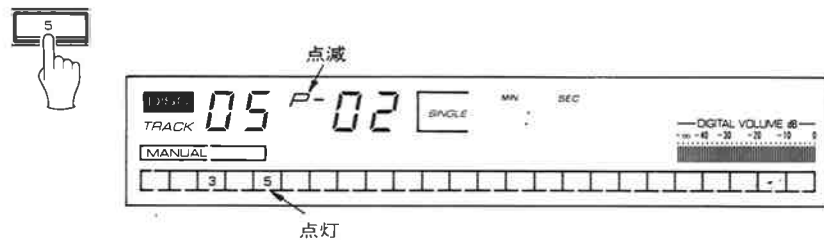
- ミュージックカレンダーには選曲された曲番が点灯します。(3を除く1～12は消灯)



3 再び希望の曲を選曲します。

この場合は5です。

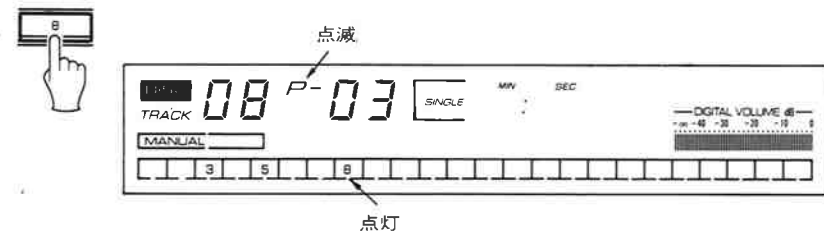
- ミュージックカレンダーの曲番が点灯します。



4 再び希望の曲を選曲します。

この場合は8です。

- ミュージックカレンダーの曲番が点灯します。

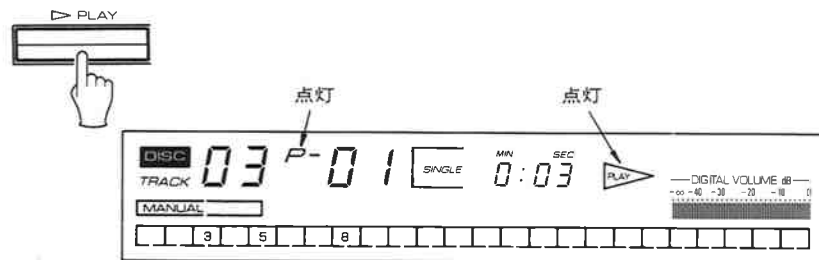


- 同様の方法で、最大24曲までプログラムすることができます。
- 24曲までセットすると、自動的にP-01に戻り、演奏スタンバイ状態になります。
- 希望の曲がすべてセットできたかどうか、ミュージックカレンダーの曲番の点灯で確認してください。
- PLAYキーを押すと、直ちにプログラム演奏がスタートします。
- PAUSEキーを押すと、プログラムの1曲目の頭でポーズとなります。
- プログラムのセットはPAUSE/STOPキーを押しても終わることができます。

5 PLAYキーを押すと演奏がスタートします。

PLAYインジケーターが点灯し、演奏がスタートします。ディスプレイは演奏中の曲番とプログラム番号を表示します。

- 演奏を終えたミュージックカレンダーの曲番は、消灯します。



6 演奏が終了すると自動的にP-01に戻り、演奏スタンバイとなります。

- マニュアルプログラム演奏終了後にCANCELキーを押すと、プログラムは解除され、ストップ状態になります。

- インデックスのプログラム演奏はできません。
- プログラムの総演奏時間が99分59秒を越えた場合、TOTALとTOTAL REMAINは100分代の数字を除いた表示をします。
- プログラム演奏で曲番が25以上の曲をプログラムしたときは、TOTALとTOTAL REMAINは“—：—”と表示されます。

DISPLAY TIMEキーを押してTOTAL TIME表示にすると、プログラムの総演奏時間が表示されますので、カセットテープに録音するときなどに活用してください。

デリートプログラム

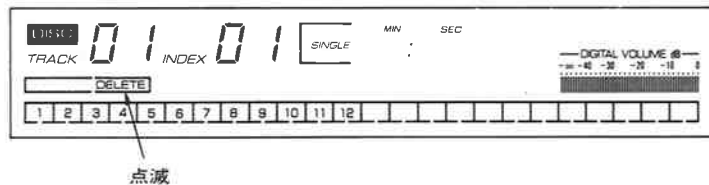
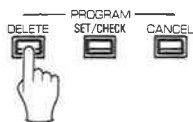
ディスクに収録されている任意の曲を
飛び越して演奏することができます。

例 ディスクの曲番2と曲番6を飛び越して演奏するには



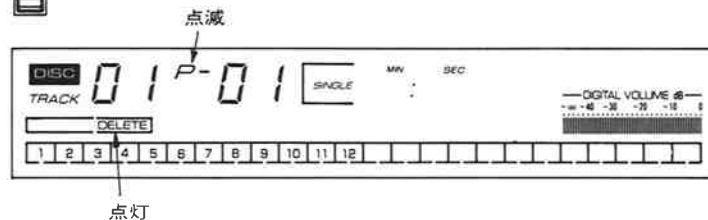
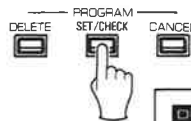
1 PROGRAMのDELETEキーを押します。

●DELETEインジケーターが点滅します。



2 PROGRAMのSET/CHECKキーを押します。

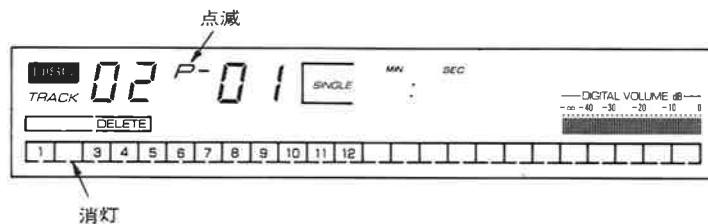
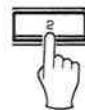
“P-”インジケーターが点滅、P-01にデリートプログラムがセットできることを示します。



3 演奏しない(飛び越す)曲番をテンキーで指定します。

この場合は2です。

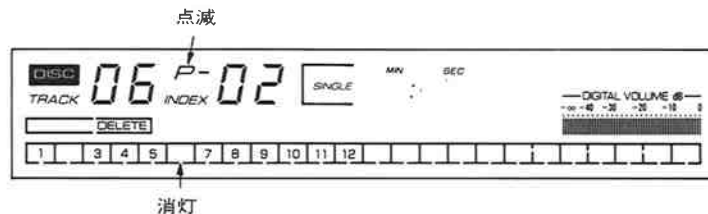
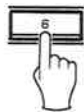
P-01に曲番2がセットされ、ミュージックカレンダーの曲番2が消灯します。



4 再び演奏しない曲番を指定します。

この場合は6です。

P-02に曲番6がセットされ、ミュージックカレンダーの曲番6が消灯します。



5 デリートプログラムのセットを終える場合は、PROGRAM SET/CHECKキーを2回押します。

“P-”インジケーターが点滅からINDEX点灯に変わり、デリートプログラムのセットが完了したことを示します。

- デリートプログラムのセットはPAUSE/STOPキーを押しても終わることができます。

- PLAYキーを押すと直ちに演奏がスタートします。

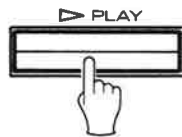
*PAUSEキーを押すと、デリートプログラムされなかった最小の曲番の頭でポーズとなります。



2回押す

6 PLAYキーを押し、デリートプログラムを演奏します。

この場合は、ディスクの1曲目から演奏が始まり、2曲目と6曲目を飛び越して順次演奏します。



- デリートプログラム演奏終了後にCANCELキーを押すと、プログラムは解除されストップ状態になります。

■プログラム演奏中の選曲操作

プログラム演奏中にSKIPキーを押すと、セットされたプログラムの順に前後の曲の頭出しができます。また、テンキーを使うと、プログラムに関係なく曲の頭出しができます。

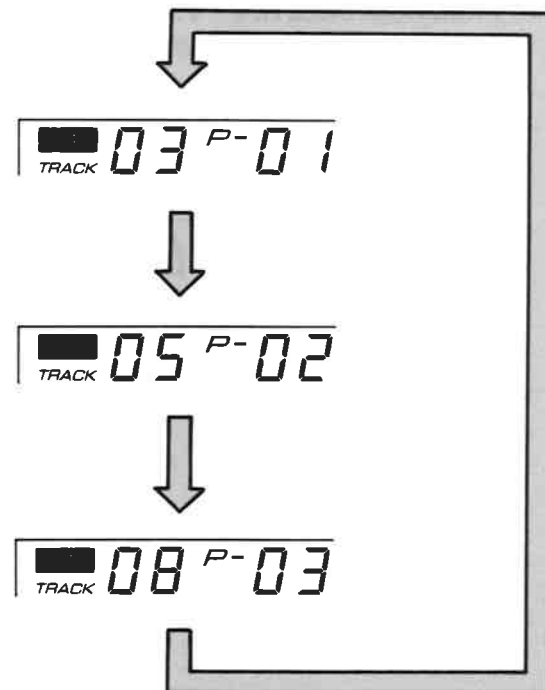
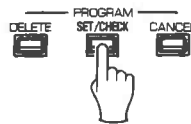
■プログラム演奏中の早送り、早戻し

“>>”または“<<”キーを使うと、プログラムに関係なく早送り、早戻しができます。

■プログラムのチェック

PROGRAMのSET/CHECKキーを押すたびにP-01から順にプログラム曲番が表示され、プログラムのチェックができます。

最終のプログラムを表示後はP-01の表示に戻ります。



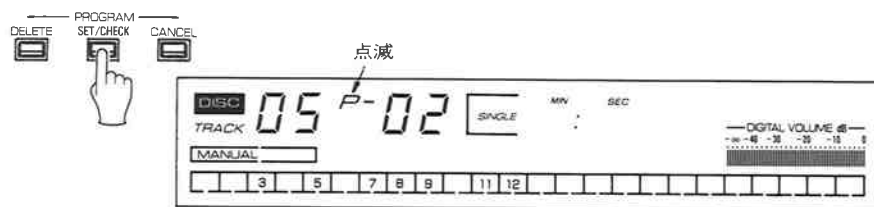
■プログラムの変更のしかた

1 SET/CHECKキーを押し、変更したいプログラム番号をディスプレイに表示させます。

2 “P-”インジケータが点滅していることを確認し、テンキーで新しい曲番を選びセットし直します。

前のプログラムは消え、新しいプログラムに変更されます。

例 P-02曲番5を曲番1に変更するには



この状態でCANCELキーを押すと、P-02の曲番5のみがクリアされます。



■プログラムの解除のしかた

- プログラムのセット中および演奏前はCANCELキーを、演奏中はPAUSE/STOPキーを押し、ストップ状態にし、CANCELキーを押しますと、すべてのプログラムは解除されます。
- マニュアルプログラムのセット後にストップ状態にしてDELETEキーを押しますと、デリートプログラムのセットモードになると同時にマニュアルプログラムは解除されます。
- デリートプログラムセット後にDELETEキーを押しますと、デリートプログラムは解除されます。
- すべてのプログラムは、ディスクトレイを開きますと解除されます。

ランダム演奏

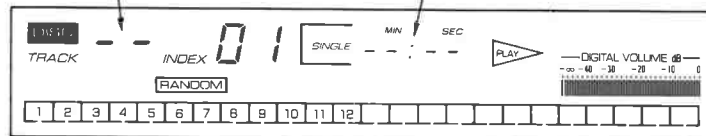
- ディスクに収録されている曲を本機が順不同に並べ換えて演奏します。
- ランダム演奏は一度演奏が終了すると、通常の演奏に戻ります。

RANDOM PLAYキーを押すと、ランダム演奏がスタートします。



演奏が始まるとランダム選曲された曲番が表示されます。

“P-”が左から消えていき演奏開始



- プログラムがセットされているときは、ランダムプレイはできません。
- ランダム演奏時は、オートスペース機能の働きにより、曲間に4秒間のスペース(無音部分)が自動的に挿入されます。
- もう一度RANDOM PLAYキーを押すとランダム演奏が解除されます。
- PAUSE/STOPキーを押すと、ランダム演奏が解除されポーズ状態になります。
- ランダム演奏中は、インデックス演奏できません。
- ランダム演奏中にSKIP >>>キーを押すと、ランダム演奏の終わっていない曲を選曲し、演奏します。またSKIP <<<キーを押すと、演奏中の曲の頭に戻り、再びその曲を演奏します。

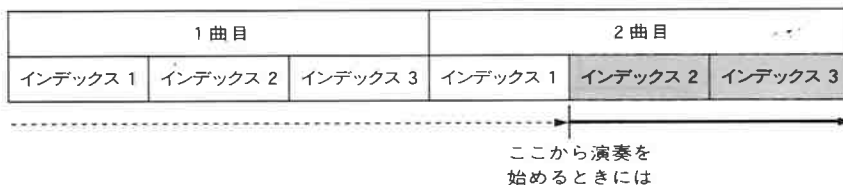
インデックス演奏

●リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

ディスクにインデックス番号(クラシック曲の第何楽章など)が設定されている場合は、お好みのインデックスから演奏をスタートさせることができます。

- インデックス番号が記録されているディスクには **INDEX** マークがディスクの解説書に記載されています。ディスクの解説書をお確かめください。

例 2曲目のインデックス2から演奏を始めるときには



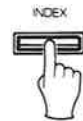
1 テンキーでインデックス演奏する曲番を指定します。

この場合は2です。



2 INDEXキーを押します。

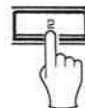
INDEXインジケータが点滅し、インデックス指定モードになります。



3 テンキーで、演奏を始めたいインデックス番号を指定します。

この場合は2です。

インデックス2のサーチが開始され、サーチが完了した時点でINDEXインジケータが点滅から点灯に変わり、インデックス演奏がスタートします。



点滅から点灯

インデックスの解除

インデックスの指定モードはINDEX表示(またはINDEX指定待ち)に再度INDEXキーを押しますと解除されます。

- インデックス指定モードのまま、PLAYキーを押して演奏をスタートさせた場合は、インデックス指定モードは解除されます。
- インデックス演奏は、指定した箇所の少し前から始まる場合があります。
- インデックス演奏が始まると、インデックス指定モードは自動的に解除されます。

- 曲番が指定されていないと、インデックスの指定はできません。
- ディスクに記録されているインデックス番号より大きな数を指定した場合、指定された曲の最大のインデックス番号から演奏を始めます。
- インデックス番号が記録されていないディスクでは、インデックス番号1を表示し、指定された曲の頭から演奏を開始します。
- インデックス演奏は、開始するまでに多少時間がかかる場合があります。

リピート演奏

●リモコンユニットで操作するときは、対応するキーをお使いください。

●ディスクの全曲、一曲あるいは聞きたい部分だけをリピート(繰り返し)演奏することができます。

●REPEAT S/F/OFFキーは、押すたびにS(シングル:一曲)、F(フル:全曲)、リピート解除に変わります。

通常演奏(リピート解除) → リピートS → リピートF

一曲リピート: 指定した一曲をリピート演奏します。

全曲リピート: ディスクの全曲をリピート演奏します。

A↔Bリピート: 指定した任意の2点間をリピートします。

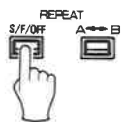
プログラムリピート: マニュアルプログラム演奏やデリートプログラム演奏もリピート演奏ができます。

一曲リピート

演奏中の曲をリピート演奏します。

1 SKIPキーまたはテンキーで、リピートさせたい曲を選びます。

2 REPEAT S/F/OFFキーを押し、ディスプレイのSINGLE REPEATインジケータを点灯させます。



SINGLE REPEAT

3 PLAYキーを押しますと、一曲リピート演奏がスタートします。

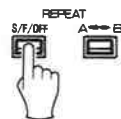
●演奏中にREPEAT S/F/OFFキーを押すと、その曲が一曲リピートになります。

●マニュアルプログラム演奏中、デリートプログラム演奏中およびランダム演奏中にも一曲リピートをすることができます。

全曲リピート

ディスクに収録されている全曲をリピート演奏します。

1 REPEAT S/F/OFFキーを押し、ディスプレイのFULL REPEATインジケータを点灯させます。



FULL REPEAT

2 PLAYキーを押しますと、全曲リピート演奏がスタートします。

- マニュアルプログラム演奏、デリートプログラム演奏も全曲リピートすることができます。
- ランダム演奏の場合は、一回目のランダム演奏終了後に、新たなランダム演奏に入ります。

■一曲、全曲リピート演奏の解除

REPEAT S/F/OFFキーを押し、SINGLE REPEATまたはFULL REPEATインジケータを消灯させます。

また、ディスプレイを開閉したり、電源スイッチを切ると、リピート演奏は解除されます。

オートスペースについて

曲間が充分でないディスクの場合、そのままテープに録音してもテープデッキ側で選曲できないことがあります。AUTO SPACEキーを使って、曲間に適当なスペースを挿入して録音すると、デッキ側の選曲ミスを防ぐことができます。

- 1 デッキで録音を開始する前に、AUTO SPACEキーを押します。ディスプレイにAUTO SPACEインジケーターが点灯します。



AUTO SPACE

- 2 PLAYキーを押します。PLAYインジケーターが点灯し、曲間が約3秒間のスペースを設定した演奏がスタートします。
 - 曲間の3秒間は、ディスプレイに“———”の表示が出て、一印が左から順次消灯して示します。
 - ディスクは今までのソースと比較すると、圧倒的に広いダイナミックレンジを持っています。録音の前にレベルチェックをしておくことをお勧めします。

タイマー演奏

別売のオーディオタイマーと組み合わせると、希望の時間に演奏を始めることができ、お好みのディスクで目覚まし再生ができます。

- ①本機の電源プラグをアンプのリアパネルのコンセントに接続します。
- ②アンプの電源プラグをタイマーの連動コンセントに接続します。
- ③本機の電源スイッチを入れてディスクをセットし、出力レベルを調整します。
- ④アンプの電源スイッチを入れてINPUT SELECTORをCDにし、アンプの音量を調整します。
- ⑤タイマーで演奏開始時間と終了時間をセットします。
(このとき、各機器の電源が切れたことを確かめてください。)

*タイマーで時間をセットする方法は、タイマーの取扱説明書をご覧ください。

以上で、タイマーにセットした時刻がくると、ディスクの第1曲目から演奏が始まります。

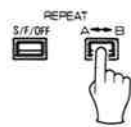
*リピート演奏はできません。

A↔Bリピート

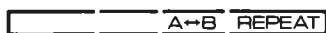
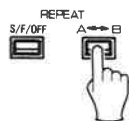
指定した任意の2点間をリピート演奏することができます。

- 1 演奏中に、リピートさせたい箇所ではREPEAT A↔Bキーを一度押します。A点が設定されます。

- A点はポーズ中にも設定できます。



- 2 リピートを終えたい箇所でもう一度REPEAT A↔Bキーを押し、B点を設定します。(B点もポーズ中に設定できます。)
B点が設定されると同時にA↔Bリピート演奏がスタートします。



■A↔Bリピート演奏の解除

REPEAT OFFキーを押しますと、A↔Bリピートが解除されます。

- 再度A↔Bキーを一回押しますと、新たにその箇所をA点として設定します。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのラベル面を上に入れてください
OPEN/CLOSEキーを押してもディスクトレイが閉じない	ディスクがゆがんでいる	もう一度入れ直すか、別のディスクに変えてください
特定の箇所ですら正常に演奏しない	ディスクに傷がついている	傷のある箇所をSKIPさせて演奏してください
	ディスクが汚れている	ディスクをやわらかい布などで清掃してください
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作が間違っている	アンプのスイッチの位置を確認してください
音飛びがする	本機が震動やショックを受けている	設置場所をかえてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力コードのプラグの接続不良	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
リモコンユニットでは操作できない	乾電池が消耗している	インジケーターが点灯しないときは、乾電池を2本とも交換してください
	送信機が受光部に向いていない	リモコンユニットを受光部に向けてキーを押してください
	本機を設置している場所の照明が明るすぎる 受光部に強い光が当たっている	照明を消すか、暗くしてからキーを押してください

参考仕様

■型式 コンパクトディスク・デジタル・オーディオ・システム

■オーディオ特性

周波数特性	2Hz~20kHz±0.3dB
ディエンファシス偏差	±0.3dB(EIAJ)
高調波歪率+雑音	0.0025%以下1kHz(EIAJ)
SN比	120dB(EIAJ)
ダイナミックレンジ	100dB以上(EIAJ)
ワウ・フラッター	測定検知限以下
チャンネル・セパレーション	100dB以上 1kHz(EIAJ) 100dB以上20kHz(EIAJ)
出力電圧	2V(EIAJ)
出力インピーダンス	600Ω
ヘッドホン出力電圧(150Ω負荷)	2.5Vmax.

■方式

光ピックアップ	3ビームレーザー
エラー訂正方式	CIRC. 2重エラー訂正方式
D/A変換	8fs×22bit、4DACシステム
フィルター	デジタルフィルター+ 3次アクティブフィルター
ディスプレイ	液晶表示器

■機能

頭出し	“◀◀”・“▶▶”キーによる順次頭出し ダイレクトキーによる頭出し
インデックスサーチ	ダイレクトキーによる指定
音出しサーチ(演奏時)	“◀◀”・“▶▶”キーによるサーチ 2段階スピード自動切換
ポーズ	ポーズ/ストップキーを1回押す
ストップ	ポーズ/ストップキーを2回押す
総演奏時間表示	TIME DISPLAYキーにて
演奏残り時間表示	//
プログラム機能	24曲ランダム 合計時間表示機能 リリートプログラム
オートスペース機能	演奏時、曲間3秒以上のスペース
リピート	1曲、全曲またはプログラム全部のリピート A↔Bリピート、ランダムプレイリピート
タイマープレイ	ディスク装着時パワーONで演奏開始

■総合

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	25W
外形寸法(W×H×D)	473.5×131×391.5(mm)
重量	16.2kg
付属品	出力ピンプラグコード リモコンユニット 乾電池 単3(SUM-3)×2

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りの

YAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

（右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。）

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

（電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口）

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 TEL(011)513-5036
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(025)243-4321
浜松	〒435* 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-4 ヤマハセンター内 北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉台通ビル4F 東北営業所 TEL(022)223-3101
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F 特販営業所 TEL(03)255-1825 首都圏第一営業所 TEL(03)255-5691 首都圏第二営業所 TEL(03)255-5691 神田営業所 TEL(03)255-6767 販売二課 TEL(03)255-2302
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル 北関東営業所 TEL(025)241-2084
千葉	〒260 千葉市千葉港2-1 千葉コミュニティセンター1F 千葉営業所 TEL(0472)47-6622
神奈川	〒211 川崎市中原区木月1184 ヤマハ日吉センター内 神奈川営業所 TEL(044)434-4871
浜松	〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ツ池センター内 浜松営業所 TEL(0534)71-1207
名古屋	〒464 名古屋市中区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 中部営業所 TEL(052)782-7551 販売二課 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内 関西営業所 TEL(06)647-6411 日本橋営業所 TEL(06)647-6411 中央営業所 TEL(06)647-6411 販売二課 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いぎん広島ビル内 中国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 ホームエレクトロニクス事業本部 お客様ご相談センター TEL(0534)60-3421

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

国内販売統括部 TEL.(0534)60-3421

生産管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA